

開設科目名	科目：住環境学概論										担当教員：住環境学科全教員							
開 講 期	前期			授業方法：講 義				単位数：2 単位				週時間：2 時間						
対 象 学 生	1 回生			科目番号：050610				木曜日		7・8 時限			G101教室					
授業の概要	住環境学に関して、住まいの役割、住まいの変遷、住居計画、住まいの環境、住まいの安全と維持管理、環境共生住宅など住環境に関する基礎的知識を習得し、設計演習により住居設計に関する能力を高めると共に、これからの住居・住まい方を包含した住環境のあり方について考究する。																	
学 習 ・ 教育目標	住環境学に関する基礎的知識を学習する。 住まい方や住まいの歴史について知識を深める。 住まいおよび居住地の環境や管理について知識を深める。 住まいの計画手法を学習し、住居設計の基礎的技術を習得する。																	
	対応表	A			B		C				D			E		F		
		A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	C-1	C-2	C-3	C-4	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	F-1	F-2	F-3
						○												
キーワード	住環境、住生活、住居計画、住居管理、住居設計																	
授業計画	第1回 ガイダンス：住環境学概論で取り上げる講義内容等を概説する。 第2回：人間と住まい：「人間にとって住まいとは何か」を概説する。（今井範子） 第3回：住まいの地域性と歴史性（増井正哉） 第4回：集まって楽しく暮らす住まい（瀬渡章子） 第5回：住宅建築の構造と仕組み（向井洋一） 第6回：住まいの管理と耐久性（藤平真紀子） 第7回：室内の熱・空気環境および騒音に関する基礎的知識を修得させる。（磯田則生） 第8回：生活の中の「光と色のデザイン」に関する基礎的知識を概説する。（井上容子） 第9回：都市を計画するとは（中山 徹） 第10回：風景をデザインする職能の役割と実践（宮城俊作） 第11回：建築デザインと生活環境（長坂 大） 第12回：住居の設計 第13回：住居設計演習 第14回：住居設計演習 第15回：まとめ																	
教科書	教科書は指定しないが、毎回の講義を理解するために必要な資料を配付する。																	
参考書	授業中に担当者から適宜、紹介する。																	
成績 評価方法	レポート：各授業ごとに小レポートを課し、授業内容の理解度を評価する（A4、1枚、期限は1週間） 演習図面：設計図面の描き方の基礎的な能力を評価する																	
評価割合	定期試験 （中間・ 期末試験）	小テスト・ 授 業 内 レ ポ ー ト		宿題・授業 外レポート		授業態度・ 授 業 へ の 参 加 度		受 講 者 の 発 表 （プレゼン）		出 席					合 計			
	%	%		70%		30%		%		%		%			100%			
備 考	A～Fは住環境学科（専攻）の学習・教育目標である。具体的内容については住環境学科のホームページを参照のこと。 問い合わせ等は、住環境学科主任まで。																	